

No.90  
2018  
11/16



# はちおうじ

JR東労組  
八王子地本  
八王子地本  
ホームページ  
「東労組八王子」で検索



## 申9号 運行優先体質を許さず、安全第一の鉄道を求める申し入れ 提出！

10月18日18時49分、五日市線で鹿と衝突した際、指令より「鹿の搬出をお客さまへ協力要請をするように」との指示があり、旅客を線路内に降車させる事象が発生しました。結果的に搬出作業をさせることはありませんでしたが、大規模災害以外での旅客への協力要請は過去にありません。これまで、駅間にて停車する場合は「線路内は大変危険であり、線路には絶対に降りないように」と放送しています。しかし、今回の事象は夜間の時間帯やパンタグラフを降下させていないことから怪我や感電などをさせてしまう可能性があります。さらに、野生動物との接触による負傷や衛生面の問題もあり、「安全がJR東日本グループの経営のトッププライオリティ」と逆行している事象であり、到底看過出来るものではありません。また、駅係員や設備社員の到着に時間を要しましたが、関係社員の到着を待たずに搬出作業の判断をすることは、運行優先の判断であると言わざるを得ません。旅客・乗務員の命を守り、安全な鉄道を創り出すために以下の申し入れを行いました。

No.62  
2018  
10/29

JR東労組  
八王子地本  
ホームページ  
「東労組八王子」で検索

いよいよここまで来た!?  
亡骸搬出作業をお客さまがお手伝い!!!  
そもそも「線路には降りない」が基本ではなにか?  
10月18日18:49頃、武蔵五日市～武蔵増戸駅間で鹿との衝突事故が発生、床下に鹿が挟まっていたため、関係社員に出場要請を行ってまいりました。しかし『現場に到着するのが30分以上かかる』『乗務員だけでは搬出は困難』との理由から指令より『お客さまに鹿の搬出協力を要請』するよう指示、結果5名の旅客が搬出協力をするという事象が発生しました。しかも電車はパンタグラフが降下されておらず、感電の危険もありました。また、環境省も「動物由来感染症を防ぐために野生動物と接する際は長袖・長ズボン・手袋着用、血液等に触れない」などの注意を呼びかけています。そしてそもそも「お客さまを線路に降ろさない」ことは大前提のはずです。今回の事象が発生した原因は“運行優先体質”と“必要な場所への要員配置を怠った会社の経営判断の誤り”に他なりません。

人身事故です。怪我人の救済にご協力ください!  
いずれはこんなことも...?!

今回の取組は会社の責任放棄だ!  
責任もって対応できる体制を創出そう!  
鉄道の安全輸送を守るのは乗務員の使命です!

1. 今事象において、旅客を降車させ、搬出作業を協力要請した判断および根拠を明らかにすること。
2. 今事象において旅客を降車させたことは、安全配慮義務を欠いた行為であり「究極の安全」から逆行していると考え、会社の見解を示すこと。
3. 今事象では、運転再開までに100分超の時間を費やし、また関係社員が現場到着までに時間を要したことから、災害時等の対応を速やかに図られるよう要員配置などの体制を構築すること。
4. 異常時等における旅客への協力要請においては、人命に係わる事象以外には行わないこと。
5. マダニやその他感染症に対する考え方を明らかにし、乗務員をはじめとする関係社員の健康に支障をきたさないための具体的対策を講じること。また、今事象における経過と感染症などにおける留意点ならびに対策について社員周知を行うこと。
6. 動物が鉄道敷地内に侵入できないように防護柵や動物忌避剤の散布等の整備強化対策を講じること。

# 安全第一で異常時に強い職場風土を私たちの手で創り出そう!